

大阪府警察の取組

「大阪重点犯罪」と「署指定犯罪」を対象とした「地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止総合対策」について、検挙及び防犯の両面にわたる総合的な警察活動を戦略的に展開するとともに、自治体、事業者、地域住民等と連携・協働したオール大阪体制で犯罪の起きにくい安全なまちづくりを推進しています。

大阪重点犯罪

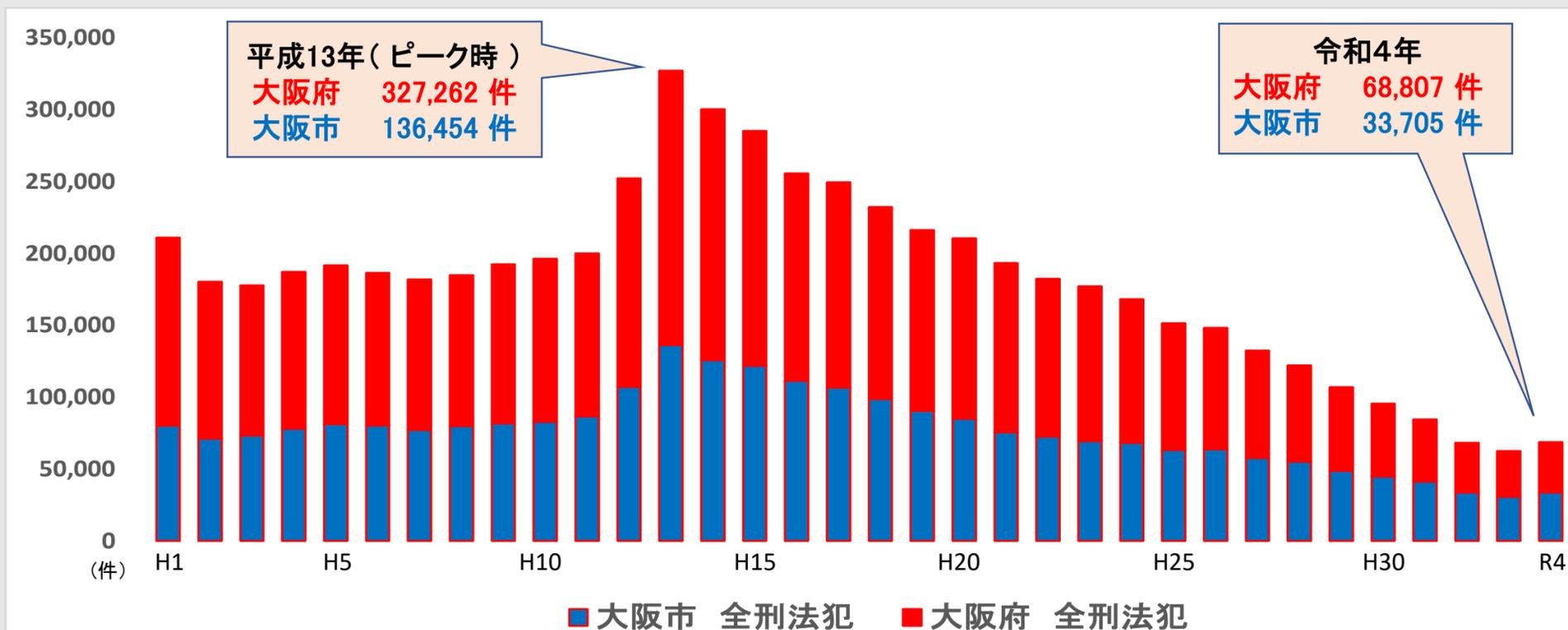
- 性犯罪
(強制性交等・強制わいせつ・公然わいせつ・痴漢)
- 特殊詐欺
- 自動車関連犯罪
(自動車盗・車上ねらい・部品ねらい)

署指定犯罪

大阪重点犯罪以外で、警察署管内の発生状況から地域住民等の安全・安心を脅かし、課題等となっている犯罪のうちから、警察署長が指定する犯罪

※令和5年7月13日の刑法改正に伴い、強制性交等罪が不同意性交等罪、強制わいせつ罪が不同意わいせつ罪に罪名変更しています。

刑法犯認知件数の推移(大阪市・大阪府)



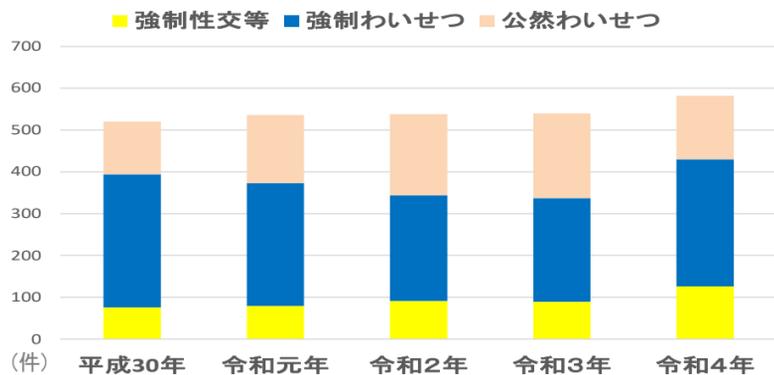
大阪重点犯罪等の認知件数

	全刑法犯	性犯罪			自動車関連犯罪			特殊詐欺
		強制性交等	強制わいせつ	公然わいせつ	自動車盗	車上ねらい	部品ねらい	
令和3年	30,764	89	248	203	219	1,755	1,194	665
令和4年	33,705	126	304	152	194	1,820	831	800
(対前年増減率)	+9.6%	+41.6%	+22.6%	-25.1%	-11.4%	+3.7%	-30.4%	+20.3%
府全体の件数	68,807	213	627	349	652	3,914	2,345	2,064
府全体に占める割合	49.0%	59.2%	48.5%	43.6%	29.8%	46.5%	35.4%	38.8%
令和5年6月末	18,593	67	141	74	94	1,082	496	435
府全体の件数	38,357	109	279	148	280	2,086	1,368	1,491
府全体に占める割合	48.5%	61.5%	50.5%	50.0%	33.6%	51.9%	36.3%	29.2%

※ 令和5年6月末の数値は、速報値を示す。

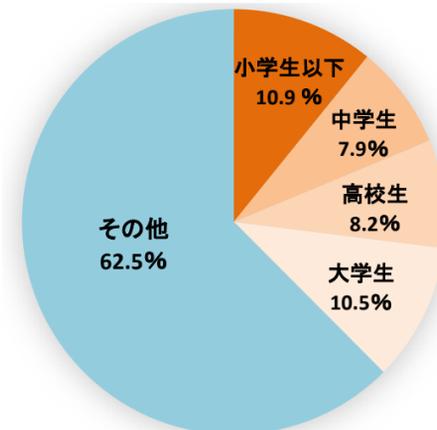
大阪市の性犯罪の情勢

認知件数の推移(過去5年)



	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
強制的性交等	76	79	91	89	126
強制わいせつ	318	294	253	248	304
公然わいせつ	126	163	194	203	152
総数	520	536	538	540	582

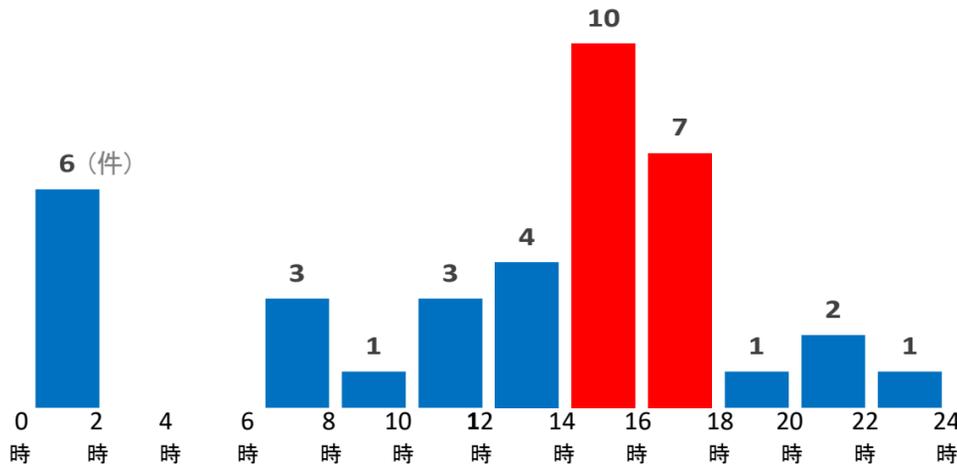
強制わいせつ被害者【学識別】(令和4年中)



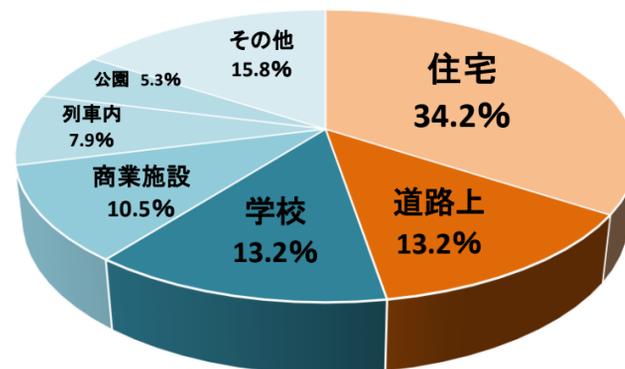
強制わいせつの被害者のうち、約4割が学生及び未就学児である。

強制わいせつ被害【小学生以下】の認知件数(令和4年中)

【時間帯別】



【被害場所別】



小学生以下の強制わいせつ被害について、発生時間帯は14時から18時の間が最も多く、発生場所は住宅と道路上で半数近くを占めている。

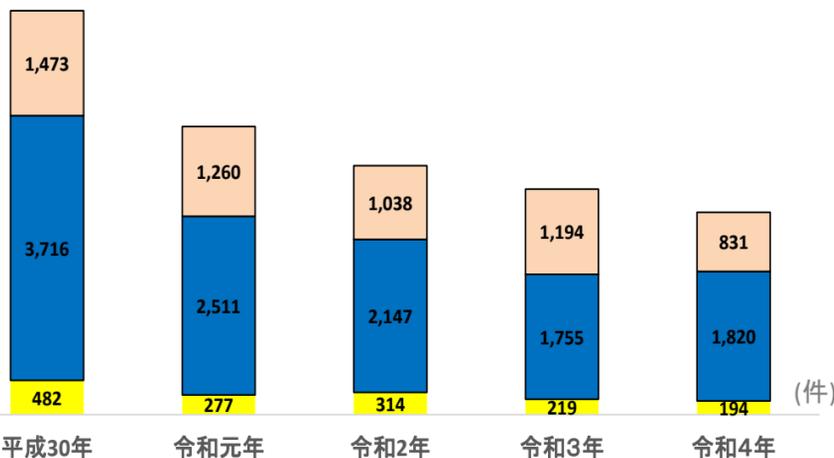
【総評(令和4年)】

令和3年と比較して、性犯罪の総数は、ほぼ横ばいであったが、強制的性交等(約42%)、強制わいせつ(約22%)は増加している。

大阪市の自動車関連犯罪の情勢

認知件数の推移(過去5年)

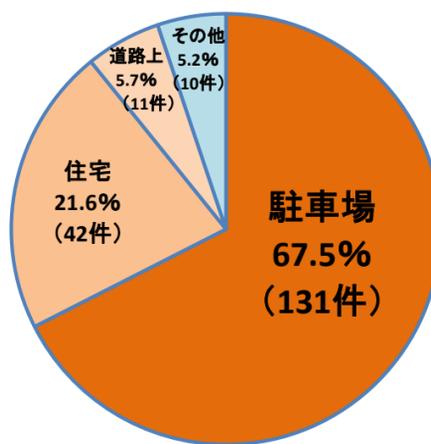
自動車盗 車上ねらい 部品ねらい



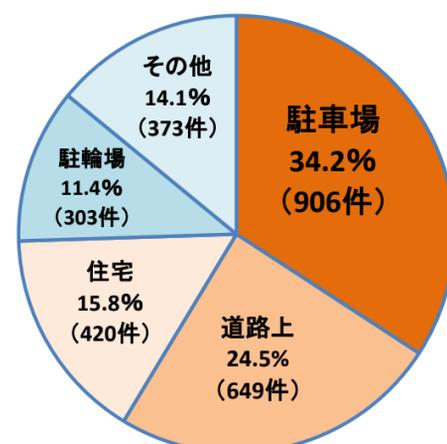
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
自動車盗	482	277	314	219	194
車上ねらい	3,716	2,511	2,147	1,755	1,820
部品ねらい	1,473	1,260	1,038	1,194	831
総数	5,671	4,048	3,499	3,168	2,845

被害場所別(令和4年中)

【自動車盗】



【車上ねらい・部品ねらい】



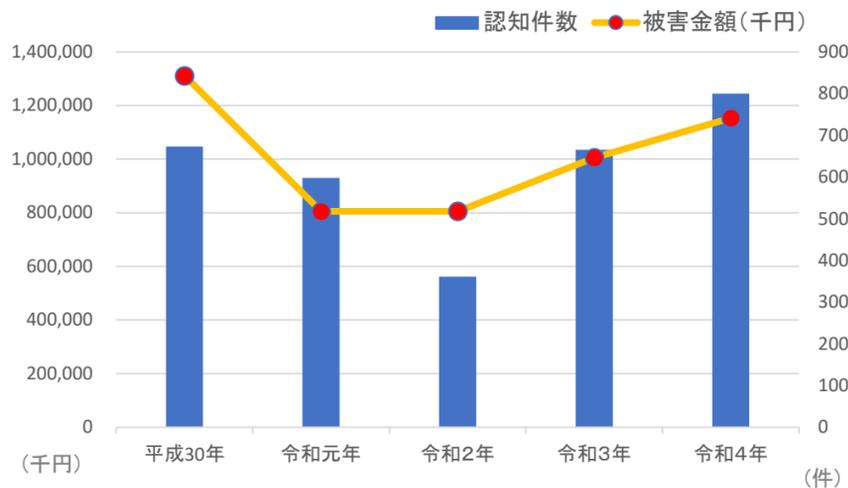
【総評(令和4年)】

- 令和3年と比較して、自動車関連犯罪の総数は、323件(約10%)減少したが、車上ねらいは、65件(約4%)増加した。
- 自動車盗の被害場所については、駐車場が最も多く、次に住宅での被害が多い。
- 車上ねらい・部品ねらいの被害場所は、駐車場が最も多く、次に道路上、住宅の順に被害が多い。

大阪市の特殊詐欺の情勢

認知件数・被害金額の推移(過去5年)

		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
認知件数(件)	大阪市	673	598	361	665	800
	大阪府	1,771	1,809	1,107	1,538	2,064
被害金額	大阪市	13億1,133万	8億327万	8億550万	10億499万	11億5,356万
	大阪府	37億4,814万	25億1,847万	22億4,806万	24億1,441万	31億9,115万



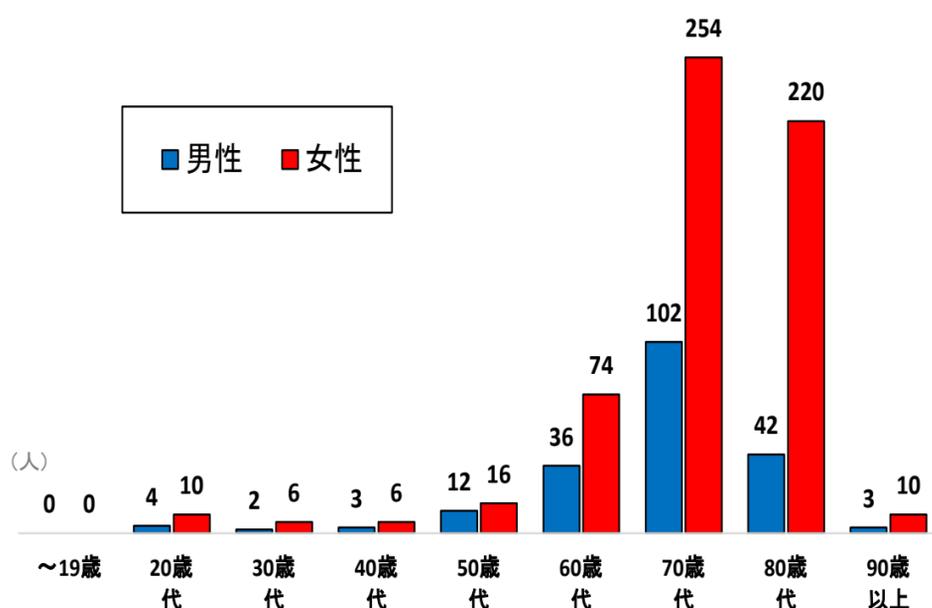
※ 被害金額は、千の位を四捨五入した額を示す。

手口別被害状況(1~6月)

	認知件数				被害金額			
	令和4年(1-6月)	令和5年(1-6月)	増減		令和4年(1-6月)	令和5年(1-6月)	増減	
			件数	増減率			増減額	増減率
特殊詐欺全体	406	435	+29	+7%	5億9,135万	4億7,344万	-1億1,789万	-20%
オレオレ詐欺	15	15	0	-	5,894万	4,450万	-1,444万	-24%
預貯金詐欺	58	90	+32	+55%	7,193万	9,523万	+2,330万	+32%
架空料金請求詐欺	36	109	+73	+203%	8,314万	8,216万	-98万	-1%
融資保証金詐欺	1	2	+1	-	332万	424万	+92万	-
還付金詐欺	210	144	-66	-31%	2億4,076万	1億1,679万	-1億2,397万	-51%
キャッシュカード詐欺盗	86	74	-12	-14%	1億3,326万	1億2,248万	-1,078万	-8%
上記以外	0	1	+1	-	0	805万	+805万	-

※ 被害金額は、千の位を四捨五入した額を示す。 ※令和5年6月末の数値は、速報値を示す。

被害者【年齢別・男女別】(令和4年中)



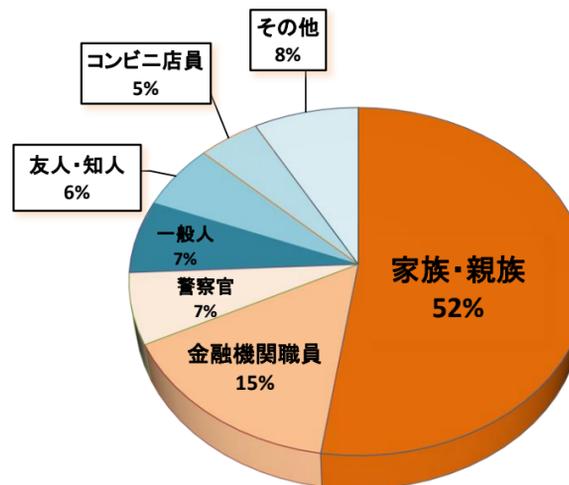
アポ電等の認知件数

	令和3年	令和4年	R5(1-6月)
アポ電	4,193	4,701	2,879
未然防止	473	590	506
被害認知	665	800	435

未然防止者(第三者)の内訳

未然防止者	令和4年	R5(1-6月)
家族・親族	309	191
金融機関職員	90	58
警察官	39	10
一般人	40	18
友人・知人	36	18
コンビニ店員	28	40
その他	48	171

【未然防止者の割合(令和4年)】

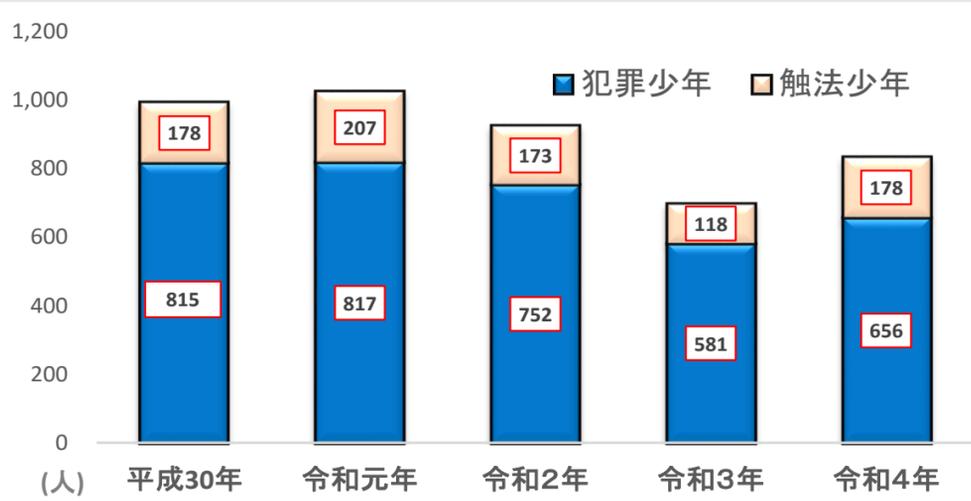


【総評(令和4年)】

- 令和4年の認知件数は800件(昨年比約+20%)、被害金額は約11億5400万円(昨年比約+15%)で、認知件数・被害金額ともに増加した。
- 令和4年の手口別認知件数では、還付金詐欺の認知件数が411件(昨年比約+27%)、被害金額は約4億4,100万円(昨年比約+34%)となり、還付金詐欺の被害が顕著である。
- 令和5年6月末現在では、前年同期比で特殊詐欺全体の認知件数は約7%と増加しているが、被害金額は約20%減少している。
- 被害者の年齢別・男女別では、70・80代女性が突出して多く、男女合わせて、60歳以上の被害が全体の約93%を占めた。
- 未然防止者のうち、家族・親族によるものが過半数を占め、次いで金融機関職員となっている。

大阪市の少年非行の情勢

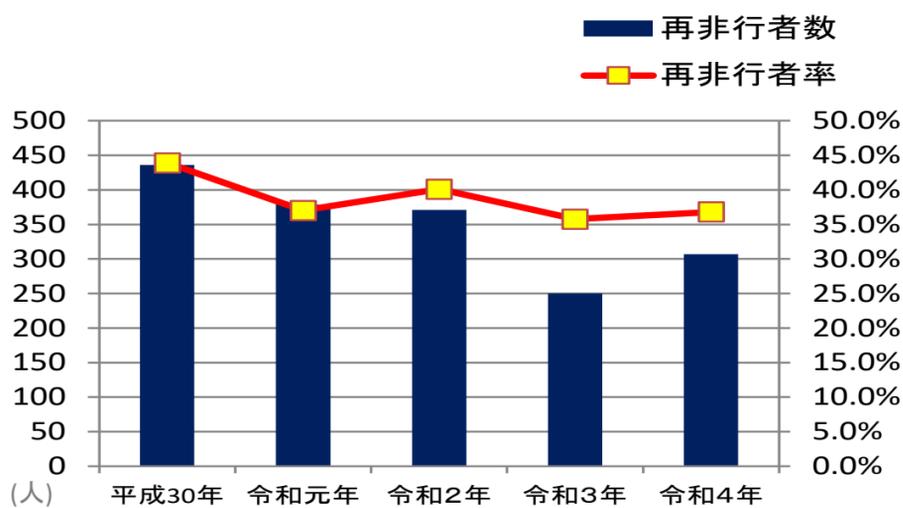
刑法犯少年 検挙・補導人員（過去5年）



区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
刑法犯少年	993	1,024	925	699	834
犯罪少年	815	817	752	581	656
触法少年	178	207	173	118	178
少年の占める割合	12.8%	12.9%	12.3%	10.2%	12.2%

- ※ 少年……20歳未満の者をいう。
- ※ 犯罪少年…犯罪行為をした14歳以上の少年
- ※ 触法少年…刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の少年
- ※ 少年の占める割合…刑法犯で検挙(成人を含む)又は補導した人員のうち、少年の占める割合をいう。

刑法犯少年 再非行者数・再非行者率（過去5年）



区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
再非行者数	436	379	371	250	307
再非行者率	43.9%	37.0%	40.1%	35.8%	36.8%

- ※ 再非行者率…犯罪少年・触法少年のうち、過去に何らかの非行により、検挙・補導されたことのある少年の割合をいう。

【総評（令和4年）】

- 刑法犯少年の検挙・補導人員は834人で、前年比135人（約19.3%）の増加となった。
- 窃盗犯が前年比で89人（約26.7%）増加するなど、粗暴犯以外のほとんどの罪種で増加した。
- 学職別では、高校生が約35.6%で、全体の約3分の1以上を占め、中学生と合わせて約62.3%になるなど、全体の6割以上を占めた。
- 特別法犯では、少年の軽犯罪法違反の検挙・補導人員が大きく減少しているが、大麻取締法違反の検挙人員が59人と前年比の横ばいとなっており、依然として少年の薬物事犯が目立っている。

刑法犯少年 検挙・補導人員（R3とR4の比較）

刑法犯（罪種別）	令和3年	令和4年	前年比
少年総数	699	834	+135
凶悪犯	29	57	+28
殺人	3	6	+3
強盗	14	26	+12
放火	8	7	-1
強制性交等	4	18	+14
粗暴犯	106	104	-2
暴行	37	35	-2
傷害	55	64	+9
脅迫	4	2	-2
恐喝	10	3	-7
窃盗犯	333	422	+89
自動車盗	2	0	-2
オートバイ盗	34	42	+8
自転車盗	105	122	+17
ひったくり	11	30	+19
車上ねらい	5	6	+1
部品ねらい	17	12	-5
万引き	99	146	+47
その他	60	64	+4
知能犯	17	18	+1
横領	0	1	+1
詐欺	15	15	0
その他	2	2	0
風俗犯	31	39	+8
強制わいせつ	20	25	+5
公然わいせつ	10	13	+3
その他	1	1	0
その他の刑法犯	183	194	+11
占有離脱物横領	82	98	+16
その他	101	96	-5

特別法犯少年 検挙・補導人員（R3とR4の比較）

特別法犯（罪種別）	令和3年	令和4年	前年比
少年総数	208	194	-14
軽犯罪法	47	20	-27
大麻取締法	61	59	-2
覚醒剤取締法	8	10	+2
銃刀法	7	6	-1
児童買春・児童ポルノ法	12	16	+4
迷惑防止条例	39	44	+5
青少年保護育成条例	9	8	-1
その他	25	31	+6

刑法犯少年（学職別）検挙・補導人員（令和4年中）

